



でいすかばあ～白老

助産師 長島英津子さん



情報ノート

助産院「みなも」(宿泊型産後ケア施設)開院へ

胆振初の宿泊型産後ケア施設として今春開院予定。温泉付きは全国初。分娩は取り扱わないですが、経験豊富な助産師への直接相談やケアを通し産後の体調管理や育児をサポートします。50歳。

「妊産婦を孤立させない。ママの気持ちに寄り添い、ママを元気に！」

町内虎杖浜48-6に今春開院予定。長島さんは助産師歴27年で個人病院と総合病院のどちらも経験。取り上げた赤ちゃんは2,000人を超えました。多くの妊婦さんや産後のママに携っているうちに、「退院まででは時間が足りない。産んで終わりではない。産んでからも大変なことは山ほどあるのに、分からないことや困ったことを気軽に聞ける場所もない。出産までのサポートは手厚くあるのに産んでからのサポートの体制が整っていない」と強く思い、できることはないかと考えました。

3児の母。男女の双子の高校生、小学3年生の末っ子を育てています。自身も初めての子育てでしかも双子。今より情報も関連用品も限られている中、不安や孤独を抱えました。産後ケアの大切さが身に染み、それからの仕事のスタイルは「ママの気持ちに寄り添うこと」が一番のベースになっています。



そんな気持ちから2018年から町内で始めたママカフェ(NPO法人ウテカンパ)は、今や60人以上の大所帯。この数字の8割は長島さん本人が病院での接点があり、集まった方々です。それだけ産後に話せる場を必要としている人がいるのだと痛感していると話していました。

助産院は分娩はできませんが、産後ケア全般を支えます。デイケアでは育児相談から乳房ケア、沐浴、スキンケア、温泉入浴、昼食の提供などを想定。中でもお母さんと子どもが安心して過ごせるための「まるまる育児ケア」や「ママの骨盤ケ

ア」をPR。宿泊もさまざまなメニューを検討中で、希望に沿った柔軟な対応ができるよう最大2組まで。宿泊費用などは自治体の助成が受けられるよう調整中です。提携先の医院も確保しています。「家族みんなが笑って子育てできるようサポートしたい」と張り切っています。(舞)

※問い合わせは右二次元コードからInstagram「みなも」メッセージ機能



©MINAMO.NAGASHIMA

吉原和香奈さん

ペットと一緒に泊まれる

温泉付きゲストハウス「たらこ湯」、4月開業へ

「気軽に、気楽に泊まれるリーズナブルな宿に」

吉原さん(37)は生まれつき聴覚にハンデを持っています。趣味はフットサルと温泉とサウナ。動物大好き。愛犬のモモと愛猫のコタと暮らしています。東京農大を卒業後、東京の民間企業に入社。その後えりも町役場に入庁し総務や社会教育を担当しました。元来の温泉好きから旅先の白老で温泉付きの民宿が取り壊されると聞き、おかみに「私がやりたい」と談判。親身になり応じてくれ「本気なら応援するよ」と破格の値段で譲渡を受けオーナーになりました。

そして思ったのはペットと泊まれるところが少なく苦労した自身の経験。金額が高く、車中泊をしたり車庫で寝ながらの“宿泊”で、旅行自体をあきらめていました。そんな吉原さんが「犬猫とお出かけしたい!」と同じ悩みを持つ人の力になりたい」と友人と一緒に立ち上げたのが、ペットと泊まれるゲストハウス「たらこ湯」です。



JR虎杖浜駅から徒歩3分。現在は4月の開業に向け父や友人の手を借りながらお風呂のタイルを貼ったり壁を直したりと改修中です。自力で直せない個所や、乾燥機・まきストーブなどの購入にクラウドファンディングを活用。趣旨に賛同した方々の反響は大きく、目標額250万円をあっという間に達成しました。

現在はアヨロ温泉でアルバイトをしながら修行中。「皆さんの力を借りながら、どんな人も安心して過ごせるボーダーレスな場所にしたい」と開業に向け奮闘中です。(竹)



日帰り温泉・ゲストハウス
たらこ湯



©TARAKO.YU

Instagram